

■ ■ 授業科目名	■ ■ 科目区分	■ ■ 時間割	■ ■ 対象年次及び学科
キャリアデザインと自己理解 Career Design and Self-Understanding	ライフデザイン	1Q 木1	1～ 全学共通科目
■ ■ 講義題目	■ ■ 水準・分野	■ ■ DP・提供部局	■ ■ 対象学生・ 特定プログラムとの対応
キャリアデザインと自己理解 Career Design and Self-Understanding	B1LFD	deaG	10
■ ■ 担当教員	■ ■ 授業形態	■ ■ 単位数	■ ■ 時間割コード
原 瑞穂	Lg	1	000008

■ ■ DP・提供部局

deaG

■ ■ 授業形態

Lg

■ ■ 関連授業科目

地域で活躍する職業人にA・B、キャリアデザインと対人関係、キャリアデザインと地域貢献A・B

■ ■ 履修推奨科目

地域で活躍する職業人にA・B、キャリアデザインと対人関係、キャリアデザインと地域貢献A・B

■ ■ 学習時間

授業90分×8講＋自学自習（準備学習15時間＋事後学習15時間）

■ ■ 授業の概要

本授業では、キャリアデザインおよび職業適性についての講義を通して、「自分は何がやりたいのか」また「自分には何が向いているのか」と考えてもらいます。主なキャリア理論に従い、自分の経験や興味関心などによって職業適性への考察を深めるというものです。

■ ■ 授業の目的

自分自身のキャリアをデザインするため、キャリア形成のプロセスを理解するとともに、ステージごとに自己の目標を設定するための授業です。皆さんが、①キャリアに関する基礎知識を理解すること、②視野・見識を広げ、キャリア形成の選択肢を広げること、③キャリアにおいて長期的かつ戦略的な取り組みが可能となるスキルの獲得を目的にしています。

■ ■ 到達目標

- ①社会において自己が果たすべき役割や市民としての責任ある行動について理解を深め、自己や社会の未来について考えることができる。（「市民としての責任感と倫理観」「地域理解/地域に関する関心と理解力」に対応）
- ②キャリアにおける自己の興味・適性・能力を認識し、各々の項目を増やしていきける。
- ③自らの気づきや感情を言語化したうえで、自己のキャリアデザインに反映することができる。（「課題解決のための汎用的スキル」に対応）

■ ■ 成績評価の方法

授業への取り組み姿勢や提出レポートを中心に平常の評価を行う。期末レポートの評価をそれに加味して総合評価を行います。（各回ポートフォリオ20%、授業への取り組み姿勢20%、最終レポート30%、発表30%）

■ ■ 成績評価の基準

■ ■ 授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション・市民としての責任感と倫理観
- 第2回 自己理解（職業興味・価値観）
- 第3回 自己理解（体験を振り返る）
- 第4回 自己理解（基礎力、目標設定）
- 第5回 ゲスト：味の素（株）「私のキャリア形成」
- 第6回 自己理解（職務適性を考える）
- 第7回 今後の学生生活の目標（発表）
- 第8回 講義 まとめ

#### 【授業および学習の方法】

本授業は、講義とグループワークからなります。

ワークには心理テスト、職務適性テスト、ワークシートなどを使用予定です。

この科目は基本的に対面授業を予定していますが、状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。

#### 【自学自習のためのアドバイス】

第1～4回 キャリア形成において自己を知るワークを通して自らの力を認識し大学生活の目標を立てる。

第5 回 ゲスト講師のキャリア形成の話を聞き、自己のキャリア形成を考える。

第6～7回 職務適性テストの結果とこれまでのワークをもとに今後の計画を立てプレゼンテーションする。

第8 回 全体の振り返りを行う。

#### ■ 教科書・参考書等

適宜レジュメや参考資料等を配付

#### ■ オフィスアワー

[原則]水曜日10～12時 キャリア支援センター(大学会館2階)

#### ■ 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

・本授業の内容は、2021年度以前開講の「キャリアデザインと職業適性イ・ロ」と内容が重複するため、2021年度以前に当該科目の単位を取得した学生は本授業を履修できません。

・グループワークでは途中からの出席を認めない場合があるので、ケアレスミスでの遅刻がないように留意すること。

#### ■ 参照ホームページ

#### ■ メールアドレス

hara.mizuho@kagawa-u.ac.jp

#### ■ 教員の実務経験との関連

2級キャリア・コンサルティング技能士、産業カウンセラー[大学、企業、需給調整機関等の教員、キャリアコンサルタント、キャリアカウンセラー等]の実務経験をもとに講義を行います。